



# 三春中学校だより

第 52 号

発行日 令和 2 年 1 月 24 日

発行所 三春町立三春中学校

電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

## 【文字にふれ、主体的に学ぶ場！ ～蔵書総数 12,408 冊、生徒用図書充足率 102%～】

三春中学校の図書スペースは、その蔵書総数 12,408 冊（生徒用 11,955 冊、教師用 453 冊）、学級数から算出した標準冊数は 14 学級なので 11,680 冊、生徒用図書の充足率は 102% となっています。

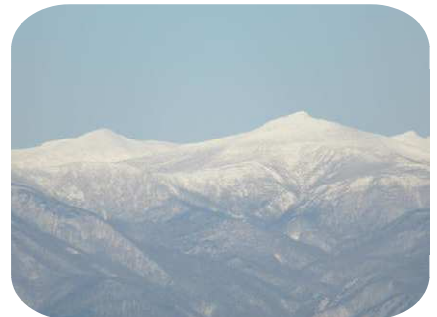
子どもたちや先生方は、授業の中においてはもちろんですが、昼休みや休み時間、放課後の時間などを活用し、一人ひとりの好みやニーズに応じて図書スペースの本を活用しています。

もちろん公共の場『図書スペース』ですから、大人になって図書館等を利活用するときのことも想定し、“過ごし方の指導”もなされています。日頃、図書スペースでは、他に配慮しつつ、楽しく、充実した時間を過ごしています。

図書スペースの壁には図書委員会の活動として作成した『おすすめの本紹介』コーナーがあり、カウンター脇の書架には『おすすめの本～冬に読みたい一冊～』と題し推薦図書の実物が紹介されています。また、文学や学術に関する図書だけではなく、『「職業・資格」案内コーナー』として職業や資格、共生社会などに関連するコーナーも充実しています。

三春中学校には三春町より常勤の司書の先生を配置いただき、生徒会図書委員会やその担当の先生、各教科の先生方と連携を図りながら、図書スペースが子どもたちの文字環境、言語環境、調べ学習や主体的な学習の場として活用されることをめざします。

夢中になって文字にふれ、ふと疲れたときに顔を上げると、窓ガラス越しには雪をいただき伸びやかにその裾野を広げる安達太良山を望むこともできる絶好の場所に図書スペースはあります。



## 【インフルエンザ感染拡大防止！ ～『連携・コミュニケーション』を図っています。～】

田村医師会から寄せられるインフルエンザ感染情報を拝見すると、船引地区を中心に感染拡大の様相が誰にでも見てとれる状況でした。

本校におきましては、学校・養護教諭の陣頭指揮の下、予防的措置も含むインフルエンザ感染拡大にむけたできる限りの活動に取り組んでいます。

“うがい・手洗いの励行”、“加湿器による適度な加湿”、“保健委員による換気”、“全員マスク着用”、“保健だよりでの啓発”、“学級担任による指導”、“食事場所の固定”、“アルコール剤の散布”、“ご家庭との連携”、“十分な健康観察”、“栄養教諭との連携”などなど、全校体制で、『連携・コミュニケーション』の意識と態度をもって感染拡大防止に取り組んでいます。

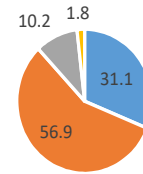
「子どもたちが心配だからみんなでマスクしましょうか」という声に、すぐに教頭先生が動き、養護教諭の先生と協力して感染拡大防止策の連絡・放送、各学級では早速マスク着用が担任から働きか

けられ、保健委員による健康観察・報告、栄養教諭はお昼の放送内容を急遽変更し、インフルエンザに負けないバランスのよい食事について放送、もちろん授業は全員マスク着用です。

それでも防ぎきれないときもありますが、この校内における『連携・コミュニケーション』の姿勢・体制を他の教育活動にも応用し、一人ひとりの子どもたちのために日々の教育活動に取り組んでまいります。

先日ご協力いただいた町学校評価システム【設問17】『先生方はお互いに協力し合っている』への肯定的な回答は89.0%でした。残りの11%のみなさんからもやがては肯定的評価をいただけるよう、これからも、校内外との『連携・協力・コミュニケーション』を大切に日々の教育活動に、何より、子ども見たちと向き合ってまいります。

【設問17】先生方はお互いに協力し合っている。



■あてはまる ■ややあてはまる  
■あまりあてはまらない ■あてはまらない

## 【ペットボトルキャップが54kg(約23,220個)集まりました！

～みなさんのご理解・ご協力に感謝いたします。～

1月23日(木)13:10、生徒昇降口、1・2年生のJRC委員が集合。そこには各クラスで集められたペットボトルのキャップが大きな袋に詰められ集まっていました。

ペットボトルのキャップをたくさん集めて集約し、それをリサイクル業者さんが買い取り、その買い取っていただいたお金をワクチン購入費として寄付するという仕組みだそうです。ポリオ(小児まひ)ワクチン1人分は20円、キャップは430個(1キロ)で10円、つまり、2kg860個でワクチン1人分が購入できるそうです。

この日、JRC委員の子どもたちが扱ったペットボトルのキャップ総重量は54kg、約23,220個、割り算をすると単純計算で27人分のポリオ(小児まひ)ワクチンが購入できます。ワクチンは、ミャンマーやラオス、ブータンなど発展途上国へと送られ、子どもたちの命を守るために役立てられるそうです。

一方で、キャップ430個をごみとして焼却すると3,150gのCO<sub>2</sub>が発生するため、キャップの再資源化はCO<sub>2</sub>の削減にもつながる地球にも優しい活動だそうです。

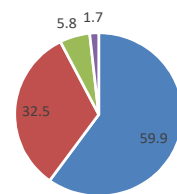
ペットボトルキャップ集めに協力いただいたみなさん、JRC委員のみなさん・担当の顧問の先生、みなさん本当にありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



## 【何よりうれしい結果ですが！～92.4(91.6)%と7.6(8.4)%の、そして、何より一人ひとりの子どもたちのために全力で取り組みます。～】

先日ご協力いただいた町学校評価システム学校評価アンケートで、【生徒設問1】『学校に行くのが楽しい』に92.4%が肯定的評価、7.6%が否定的評価でした。一方、【保護者設問1】『子どもは楽しく学校に行っている』に91.6%が肯定的評価、8.4%が否定的評価でした。この結果を真摯に受け止め、これまでの教育活動を丁寧に振り返ると共に、いただいた評価やご意見等を参考に、すべての子どもたちが『学校は楽しい』と回答できるよう全力で取り組んでまいります。

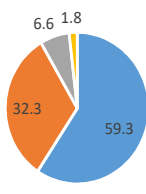
【質問1】学校へ行くのが楽しい。



■あてはまる ■ややあてはまる  
■あまりあてはまらない ■あてはまらない

【生徒】

【設問1】子どもは、楽しく学校に行っている。



■あてはまる ■ややあてはまる  
■あまりあてはまらない ■あてはまらない

【保護者】